

スーパー・メジャーズと中国：中国石油 3 社との対比（1）

エイジラム研究所 上席研究員 木村 徹

世界の石油大企業を総収入について比較すると（表 1）、中国の石油企業の中では、16 位に Sinopec Group（中国石油化工集团公司：China Petrochemical Corporation）、また、25 位に CNPC（中国石油天然気集团公司：China National Petroleum Corporation）が位置している（2007 年。フォーチュン誌による。以下、同じ）。

一方、純利益を見ると、CNPC が Total に次いで第 6 位に在るのに対して、Sinopec の純利益は 42 億ドルであり、総収入では 409 位の CNOOC（中国海洋石油聡公司：China National Offshore Oil Corporation）の純利益（36 億ドル）を 6 億ドル上回るに過ぎない。

CNPC の利益は、「スーパー・メジャーズ」のそれと比べると、世界の石油企業中、純利益において第 1 位の ExxonMobil（406 億ドル）、第 2 位の Shell（313 億ドル）とは、かなり大きな距離があるものの、第 3 位以下の BP（208 億ドル）、Chevron（187 億ドル）、Total（180 億ドル）との差は 30～50 億ドルであり、ConocoPhillips（119 億ドル）よりも大きいことが分かる。

表 1. 世界の石油大企業（2007 年：フォーチュン誌による）

（単位：100 万ドル）

順位	企業名	国名	総収入	純利益
2	ExxonMobil	アメリカ	372,824	40,610
3	Shell	オランダ	355,782	31,331
4	BP	イギリス	291,438	20,845
6	Chevron	アメリカ	210,783	18,688
8	Total	フランス	187,280	18,042
10	ConocoPhillips	アメリカ	178,558	11,891
16	Sinopec	中国	159,260	4,166
25	CNPC	中国	129,798	14,925
27	ENI	イタリア	120,565	13,703
409	CNOOC	中国	20,637	3,627

（注）「順位」は「総収入」による全企業に関する体のもの。

（出所）Fortune, July 21, 2008

< 中国市場の大きさ >

ところで、中国 3 大石油会社のうち上位 2 社が、総収入では「スーパー・メジャーズ」に次ぐ位置にあることは、中国市場の大きさを反映している。

ここで、中国市場の大きさを表わす指標として、原油処理量と製品販売量を採ってみよう（表 2）。Sinopec の原油処理量は 313 万 b/d であり、ConocoPhillips、Total、Chevron のいずれをも上回っており、また、CNPC のそれは Total とほぼ同じである（2007 年。以下、同じ）。なお、中国の 2 社の数字は国内分のみであるのに対して、他の 3 社はそれぞれが事業活動を行なっている全ての国におけるものである。

次に、Sinopec の国内における石油製品販売量は 308 万 b/d であり、上記 3 社の全製品販売量いずれにも及ばないが、その差は 17~79 万 b/d とかなり小さい。

表 2. 原油処理量と製品販売量の比較

（単位：100 万 b/d）

	原油処理量	製品販売量
CNPC	2,435	n.a.
Sinopec Corp.	3,133	3,075
ConocoPhillips	2,560	3,245
Total	2,413	3,863
Chevron	1,833	3,484

（注1） 中国の石油会社の数字は国内分のみ。

（注2） CNPC の原油処理量と Sinopec の製品販売量は推定値である。

（出所） 各社の年次報告書

これらの数字から、中国の石油 2 社の総収入は中国市場の大きさに支えられている、と推測することができる。ただし、中国における石油製品価格は政策的に低く抑えられている¹から、それが欧米や日本におけるように、企業によって決定されているとすれば、これら 2 社の総収入はもっと大きくなっていただはずである。

<利益構成の比較>

一方、純利益では、CNPC が ”スーパー・メジャーズ” のうちの数社に近い結果を残していることは、中国市場の大きさとともに、同社の利益構成における上流部門（石油・ガスの開発・生産）の大きさを反映している。

また、Sinopec の純利益が相対的に小さいのは、主に、同社の上流部門の比重が小さいこと、しかも、政府が石油製品価格を規制していることによる、と見られる。

¹ 中国では、石油製品について、ニューヨーク、ロッテルダム、シンガポールの 3 市場における価格の加重平均に基づいて国内販売価格を決定する、という制度が採用されており、石油会社は、上記の計算方式によって政府が指示する価格の上下 8% の範囲内で、自らの販売価格を決定する。ただし、政府が指示価格を変更するための明確な基準は示されておらず、したがって、例えば原油価格の大幅な上昇にも拘らず、政府がそれに対応した新価格を指示しない場合には、石油会社は価格を引き上げることができない。

CNPC における利益の部門別構成は公表されていないので、その子会社、PetroChina (PetroChina Company Limited : 中国石油天然気股份集团公司) のそれを見てみよう。同社の営業利益 (税引き前) は 2007 年に 1,998 億 5,500 万人民元 (以下、元と略す) であり、部門別には、「開発・生産」は 2,065 億 8,700 万円の黒字であるのに対して、「精製・販売」は 206 億 8,000 万円の赤字である。しかも、この部門は 2000~2007 年の 8 年間に 2 年を除き、全て赤字を記録している。

表 3. PetroChina の部門別営業利益 (税引き前) の推移

(単位 : 100 万元)

(単位:100万元)	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
開発・生産	95,143	76,932	72,139	92,370	130,213	208,080	219,860	206,587
精製・販売	-8,742	-3,324	2,818	5,035	11,891	-19,810	-29,164	-20,680
化学品製造・販売	70	-2,374	-3,162	1,041	7,655	3,276	5,058	7,831
天然ガス・パイプライン	14	722	1,552	1,922	2,535	3,183	8,986	12,495
その他	-726	-817	-1,006	-1,182	-1,156	-2,558	-6,764	-6,378
計	85,759	71,139	72,341	99,186	151,138	192,171	197,976	199,855
(単位:%)	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
開発・生産	110.9	108.1	99.7	93.1	86.2	108.3	111.1	103.4
精製・販売	-10.2	-4.7	3.9	5.1	7.9	-10.3	-14.7	-10.3
化学品製造・販売	0.1	-3.3	-4.4	1.0	5.1	1.7	2.6	3.9
天然ガス・パイプライン	0.0	1.0	2.1	1.9	1.7	1.7	4.5	6.3
その他	-0.8	-1.1	-1.4	-1.2	-0.8	-1.3	-3.4	-3.2
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(出所) 同社年次報告

次に、Sinopec における利益の部門別構成も公表されていないので、その子会社、Sinopec Corporation (China Petroleum & Chemical Corporation : 中国石油化工股份有限公司) のそれを見てみよう。同社の営業利益 (税引き前) は 2007 年に 858 億 6,400 万人民元であり、部門別には、「開発・生産」は 487 億 6,600 万円の黒字であるのに対して、「精製」は 104 億 5,200 万円の赤字である。しかも、この部門は 2005、06 年にも赤字を記録している。

表 4. Sinopec Corp.の部門別営業利益 (税引き前) の推移

(単位 : 100 万元)

(単位:100万元)	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
開発・生産	24,704	23,185	14,787	19,160	25,614	48,334	63,182	48,766
精製	1,394	2,106	5,996	6,073	5,943	-3,536	-25,710	-10,452
販売	6,358	2,443	8,401	11,943	14,716	10,350	30,234	35,727
化学	2,437	-758	596	3,543	18,721	14,296	14,458	13,306
その他	-89	324	-1,101	-1,836	-1,925	-1,198	-1,532	-1,483
計	34,804	27,300	28,679	38,883	63,069	68,246	80,632	85,864
(単位:%)	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007
開発・生産	71.0	84.9	51.6	49.3	40.6	70.8	78.4	56.8
精製	4.0	7.7	20.9	15.6	9.4	-5.2	-31.9	-12.2
販売	18.3	8.9	29.3	30.7	23.3	15.2	37.5	41.6
化学	7.0	-2.8	2.1	9.1	29.7	20.9	17.9	15.5
その他	-0.3	1.2	-3.8	-4.7	-3.1	-1.8	-1.9	-1.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(出所) 同社年次報告

さらに、CNOOC における利益の部門別構成も公表されていないので、その子会社、CNOOC Ltd. (CNOOC Limited: 中国海洋石油有限公司) のそれを見てみよう。同社の営業利益 (税引き前) は 2007 年に 433 億 1,100 万人民币元であり、部門別には、「開発・生産」の利益が 414 億 2,300 万元と全体の 96% を占めている。また、同社における販売部門の利益は 3 億 1,500 万元と極めて小さい。

表 3. CNOOC Ltd. の部門別営業利益 (税引き前) の推移
(単位: 100 万元)

(単位: 100 万元)	2004	2005	2006	2007
開発・生産	22,393	36,333	43,170	41,423
販売	228	197	391	315
その他	449	-229	563	1,573
計	23,070	36,301	44,124	43,311
(単位: %)	2004	2005	2006	2007
開発・生産	97.1	100.1	97.8	95.6
販売	1.0	0.5	0.9	0.7
その他	1.9	-0.6	1.3	3.6
計	100.0	100.0	100.0	100.0

(出所) 同社年次報告

< 3 社の誕生・変身・成長の過程から見る >

以上に述べたような 3 社 3 様の利益構成は、1980 年代に設立され、1998 年に再編成され——3 社を石油・ガスの垂直統合企業にすることを目的として——、さらにその後、それぞれの子会社の株式が一部公開される、という 3 社の誕生・変身・成長の過程によるところが大きい²。

1988 年、主に陸上の上流部門における事業に携わる企業として設立された CNPC は、1998 年以降も引き続き中国最大の石油・ガスの生産者である。例えば、中国における 2007 年の天然ガス生産量 694 億 m³ のうち、CNPC は 78% に当たる 542 億 m³ を生産しているのに対して、Sinopec は 77 億 m³、CNOOC は 67 億 m³ に過ぎない。

次に、1983 年、下流部門における事業に携わる企業として設立された Sinopec は、現在でも中国最大の石油製品および石油化学製品の生産・供給者であるが、上流部門における力は弱い。例えば、同社が 2007 年に処理した原油 (313 万 b/d) のうち、自ら生産した原油は 19.0% に過ぎず、PetroChina および CNOOC Ltd. からそれぞれ 4.4% および 4.1% を購入しているものの、全体の 72.4% は輸入に頼っている³。

² この過程については、「スーパー・メジャーズと中国: シェル (中の 1)」(2008 年 4 月掲載) における記述を参照されたい。

³ 同社年次報告による。

言うまでもなく、購入原油への依存度が高いことは、現在の製品価格制度の下では、下流部門における利益を不安定なものにする。そこで、同社に対しては、2005、2006、2007 年および 2008 年第 1 四半期について、政府から赤字補填が行なわれている⁴。なお、上述の通り自社原油の多い PetroChina は補填を受けていない。

最後に、1982 年、海上の上流部門における事業に携わる企業として設立された CNOOC は、1998 年の再編成以降、下流部門への進出を積極的に進めているが、利益構成では、いまだ上流部門への依存度が極めて高いことは、すでに見た通りである。

精製部門では、同社がこれまでに買収した会社の保有する僅かな能力があるに過ぎないが、広東省恵州市に建設中であった製油所——同社が 100% 所有する最初の製油所であり、24 万 b/d の原油処理能力を有する——は 2008 年 12 月末に完成し、2009 年 3 月から正式に稼働する予定であり、さらに、近い将来、20 万 b/d の増設が計画されている⁵。また、同社は販売部門では、直営の給油所を現在の 30 程度から 2010 年には 1,000 に増やすことを目標にしている。

(続く)

Asiam Research Institute <http://www.asiam.co.jp/>

4 “Sinopec receives 12.3b yuan subsidy for refining losses”, Shanghai Daily, March 20, 2008, <http://www.hkexnews.hk/listedco/listconews/sehk/20080319/LTN20080319474.pdf>、その他による。

5 “CNOOC to delay Huizhou refinery launch until March 2009”, *Interfax*, December 8, 2008; “CNOOC to start Huizhou refinery 2nd phase construction”, *Dow Jones*, January 7, 2009